

# 富まちミーティング【多世代交流拠点編】

令和3年4月3日（土）10時～

# 富まちミーティング【多世代交流拠点編】の進め方

## 【多世代交流拠点編①】

2021年4月3日（土）

- ・多世代交流拠点施設がどんな場になってほしいか
- ・多世代交流拠点施設をどうすれば人が集まるか

## 【多世代交流拠点編②】

2021年5月頃

- ・多世代交流拠点施設での活動の展開イメージについて
- ・「多世代」が「交流」するためのしかけ（空間のつくり方、きっかけ）

## 【多世代交流拠点編③】

2021年6月頃

- ・施設ゾーニング（どの位置にどの機能があるとよいか、機能間の関係性等）について
- ・施設の空間・使い方イメージ（利用者を想定した運用ルールや時間帯による使い分け等）について

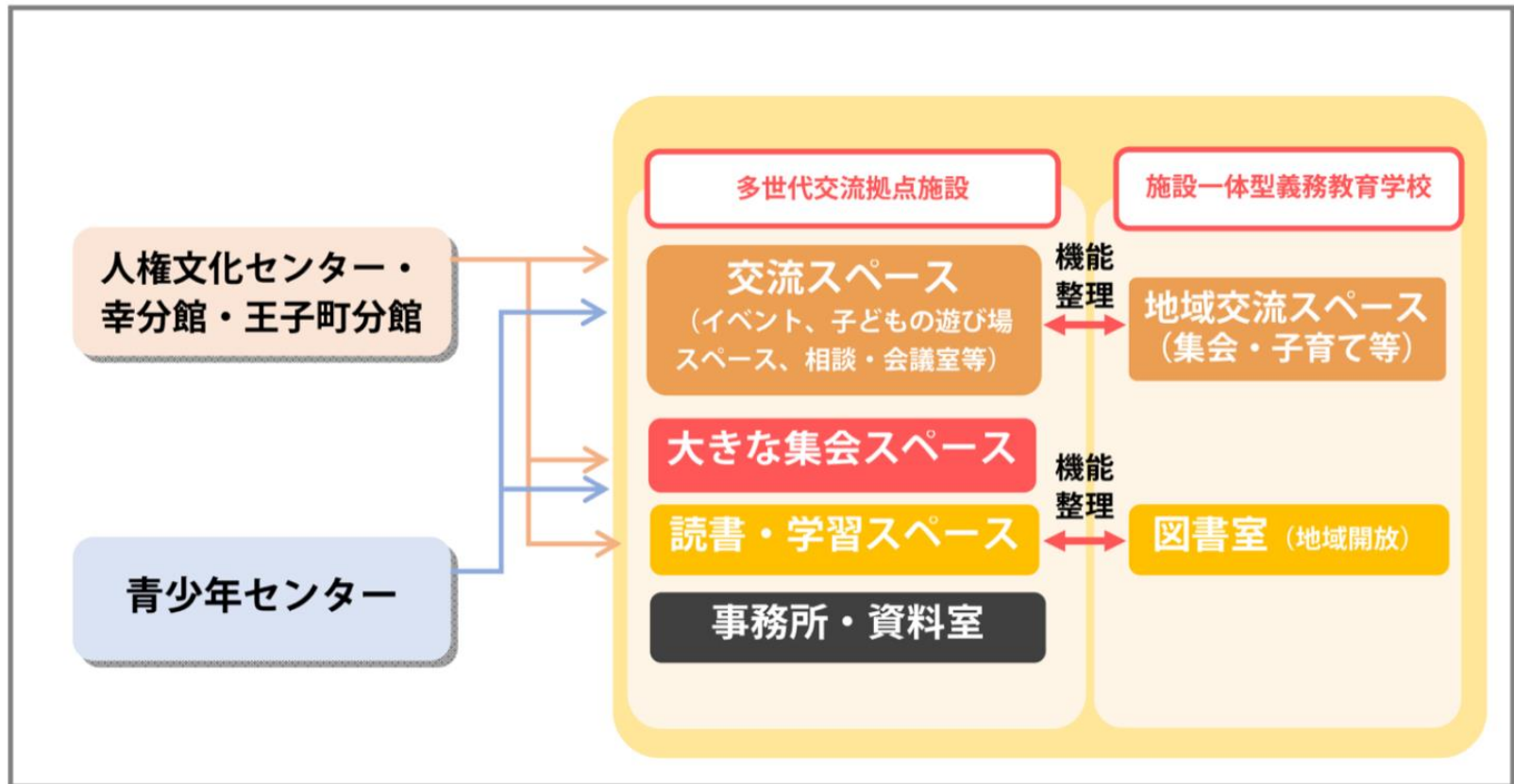
多世代交流拠点施設  
基本計画に反映

\* 各回の内容は今後変更する可能性があります

# 多世代交流拠点施設とは

- ・ 人権文化センター（分館含む）、青少年センターを集約し、誰もが集える場として整備する複合施設

## 【既存公共施設と多世代交流拠点施設と施設一体型義務教育学校との関係】



# 人権文化センター、青少年センターとは

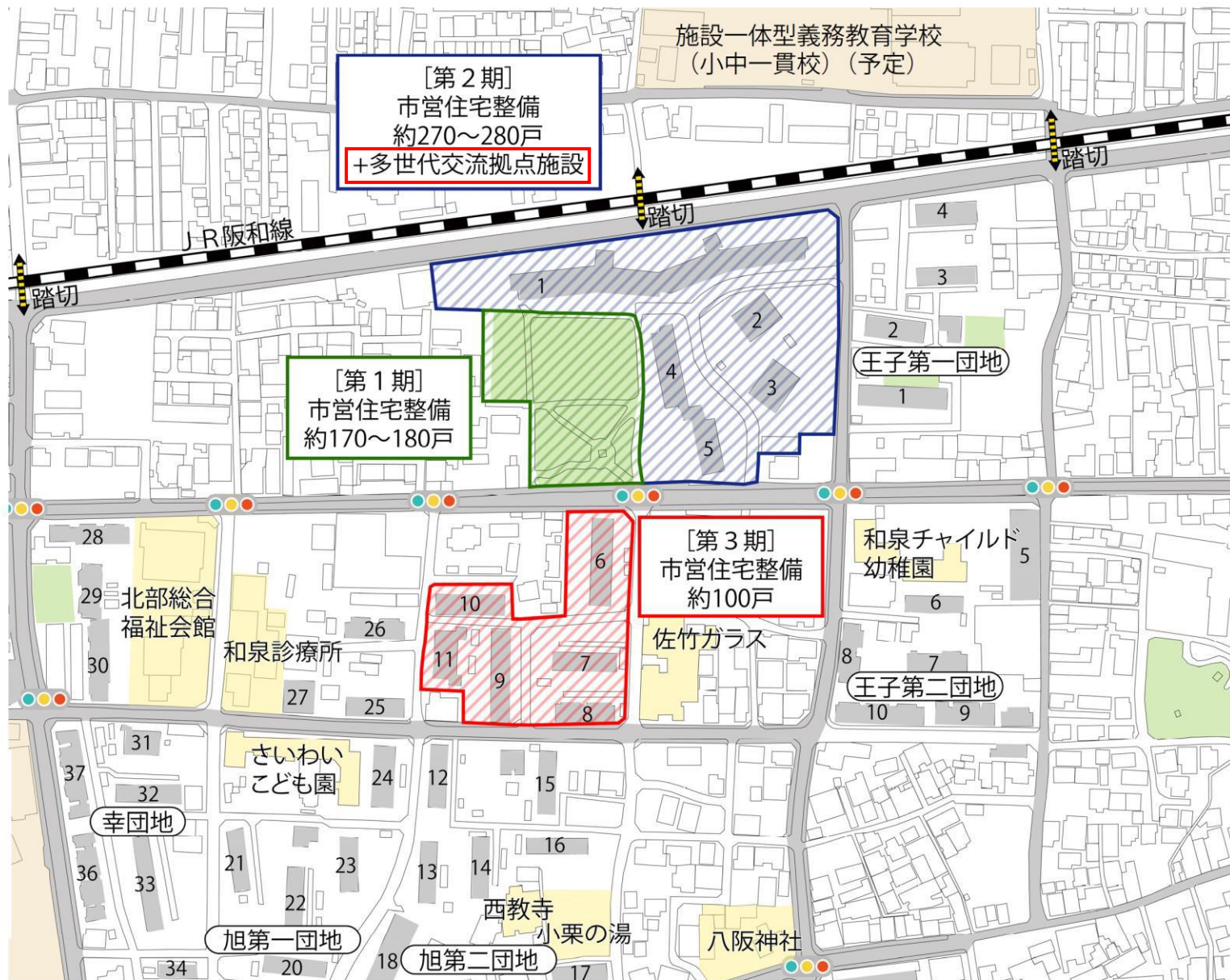
## 人権文化センター

- ・ 人権文化豊かな社会を築くことを目的として、市民の福祉の向上並びに生涯学習及び地域交流の促進を図る開かれたコミュニティの場として、総合生活相談や人権啓発、にじのとしょかん及び人権資料室の運営、伝承文化公演会、貸館等の事業を行っています。

## 青少年センター

- ・ 基本的人権尊重の精神に基づき、青少年の教養を高め、その健全な育成に資する施設として位置づけられており、概ね30歳までを対象とした多種多様な講習講座の開催をはじめ、子どもの居場所づくりに取り組んでいます。

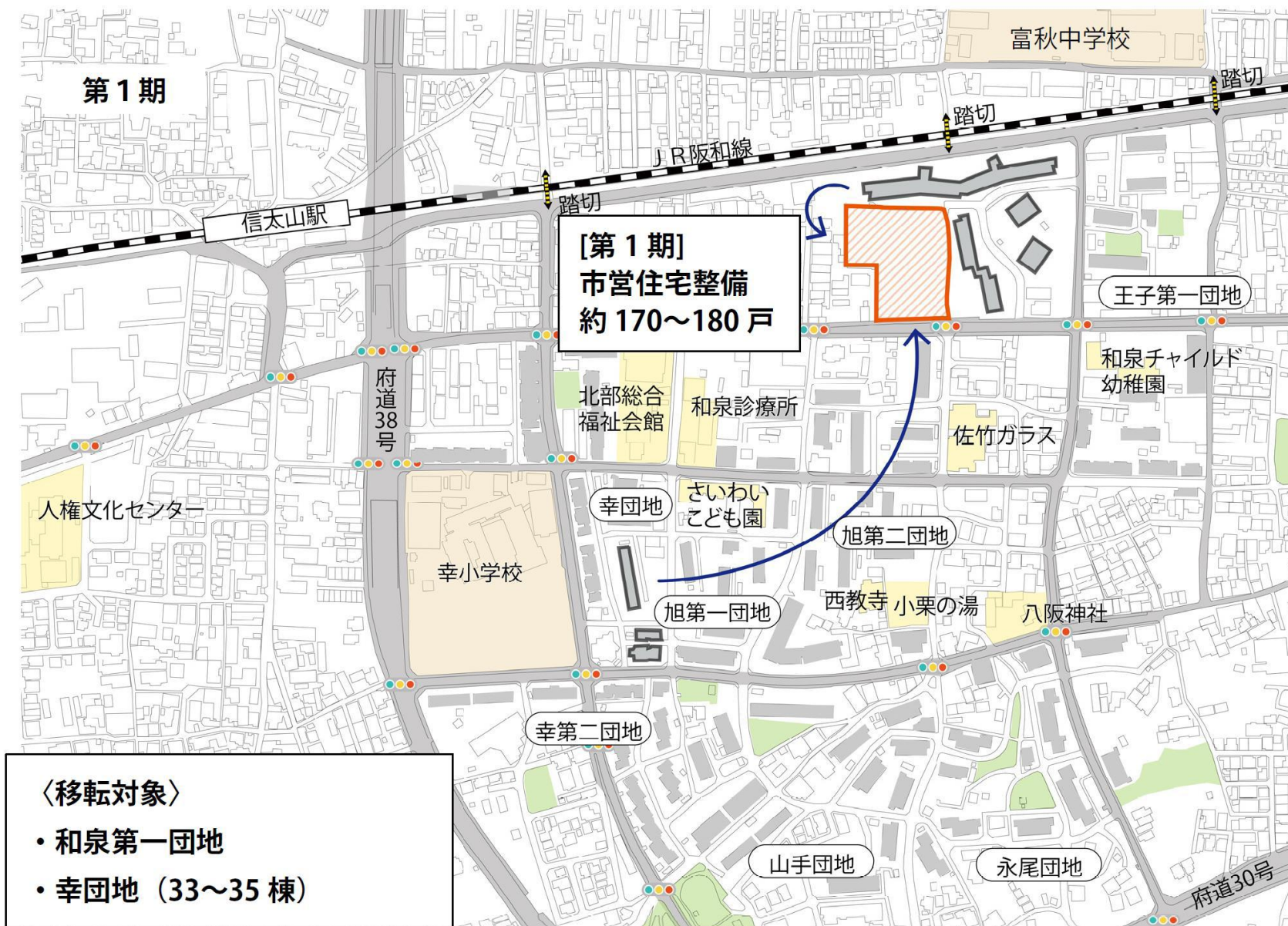
# 整備する位置について



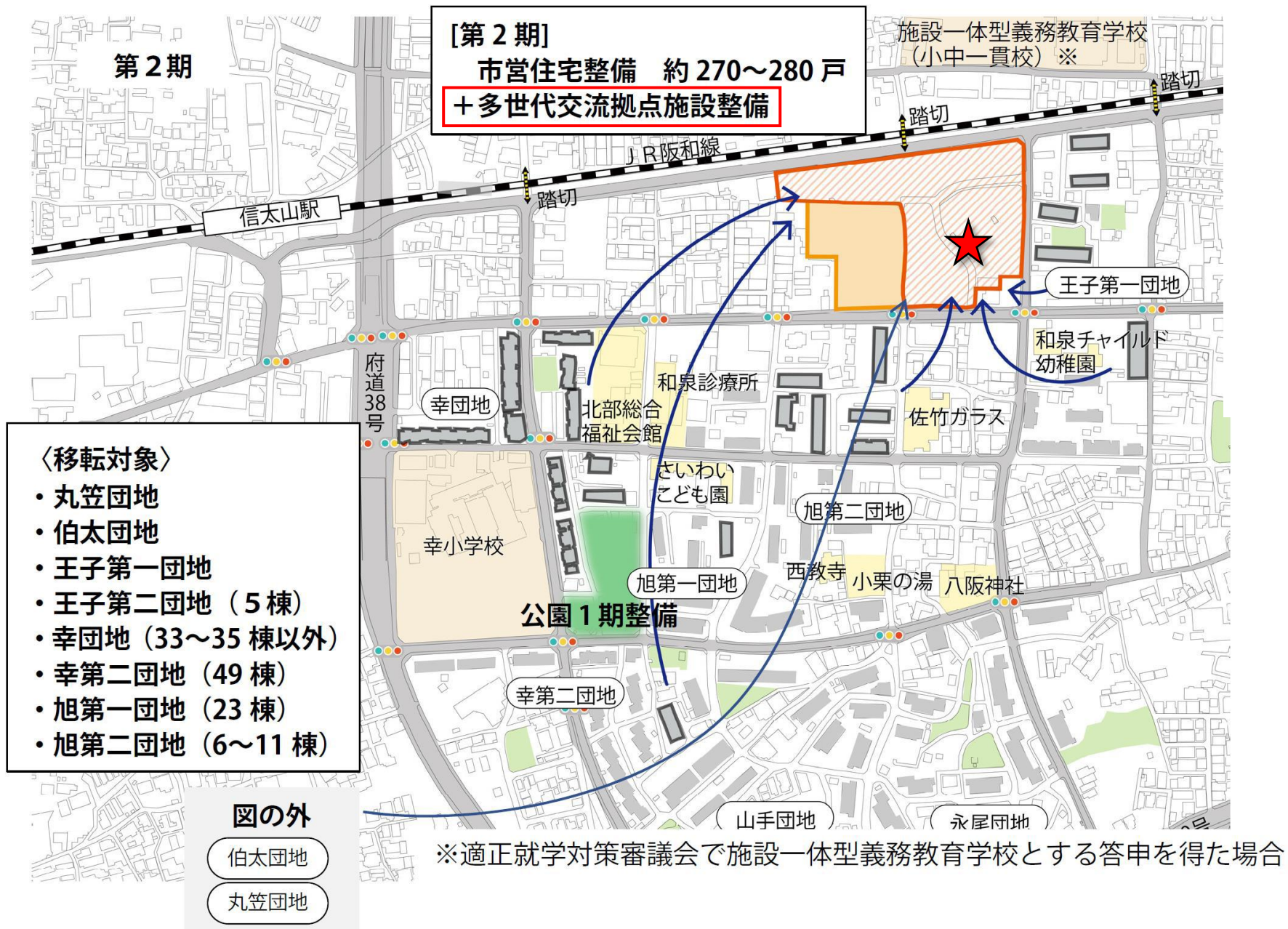
# 整備する時期について



# 整備する時期について

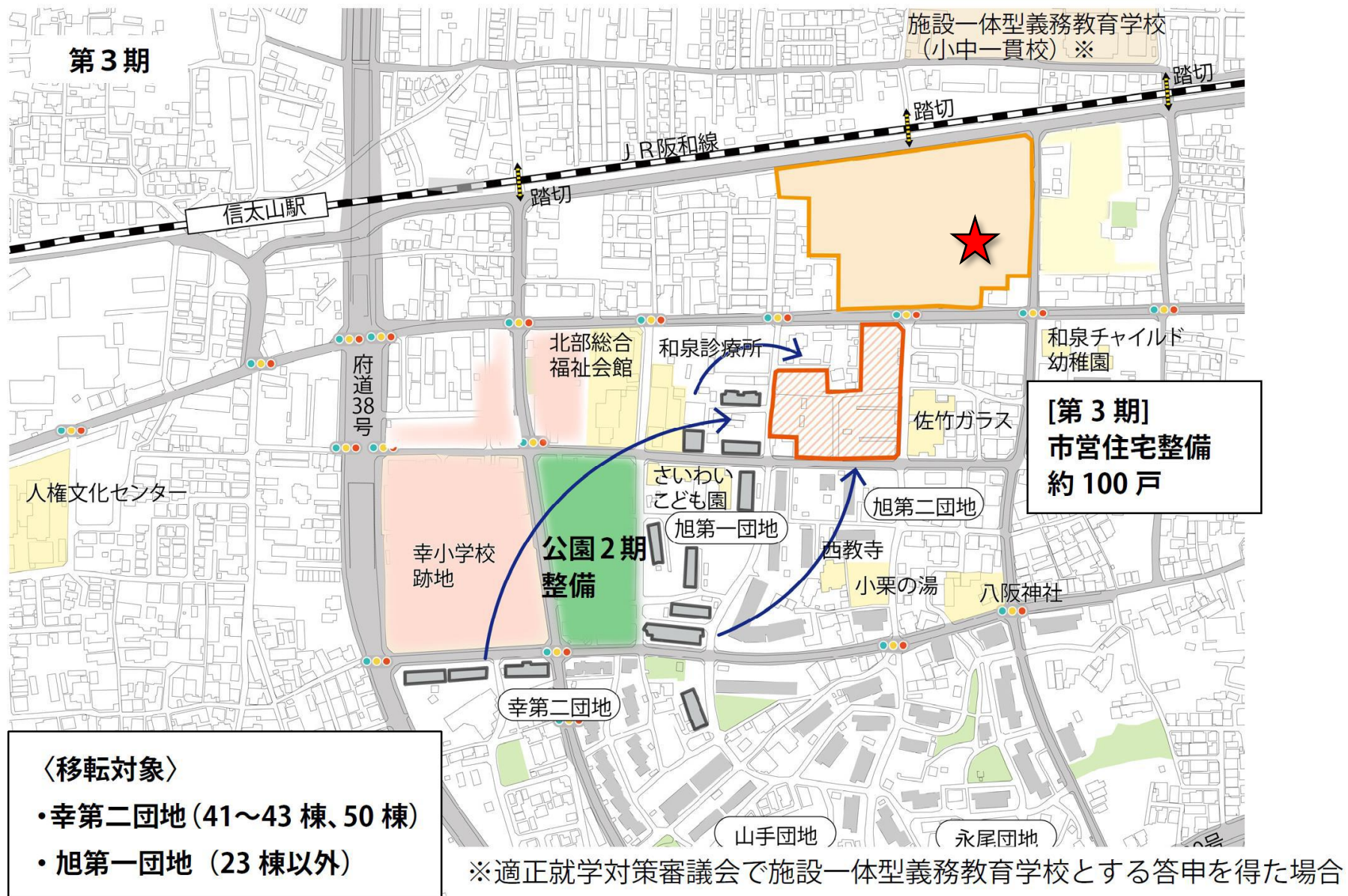


# 整備する時期について





# 整備する時期について



# 多世代交流拠点施設をつくる基本的な考え方

## まち全体の整備コンセプト（仮）

### （1）整備コンセプト

つどいとそだちとつながりをつくる  
誰もが安心を感じられる あたたかなまちづくり

#### ① 安全・安心に暮らし続けられる「市営住宅」

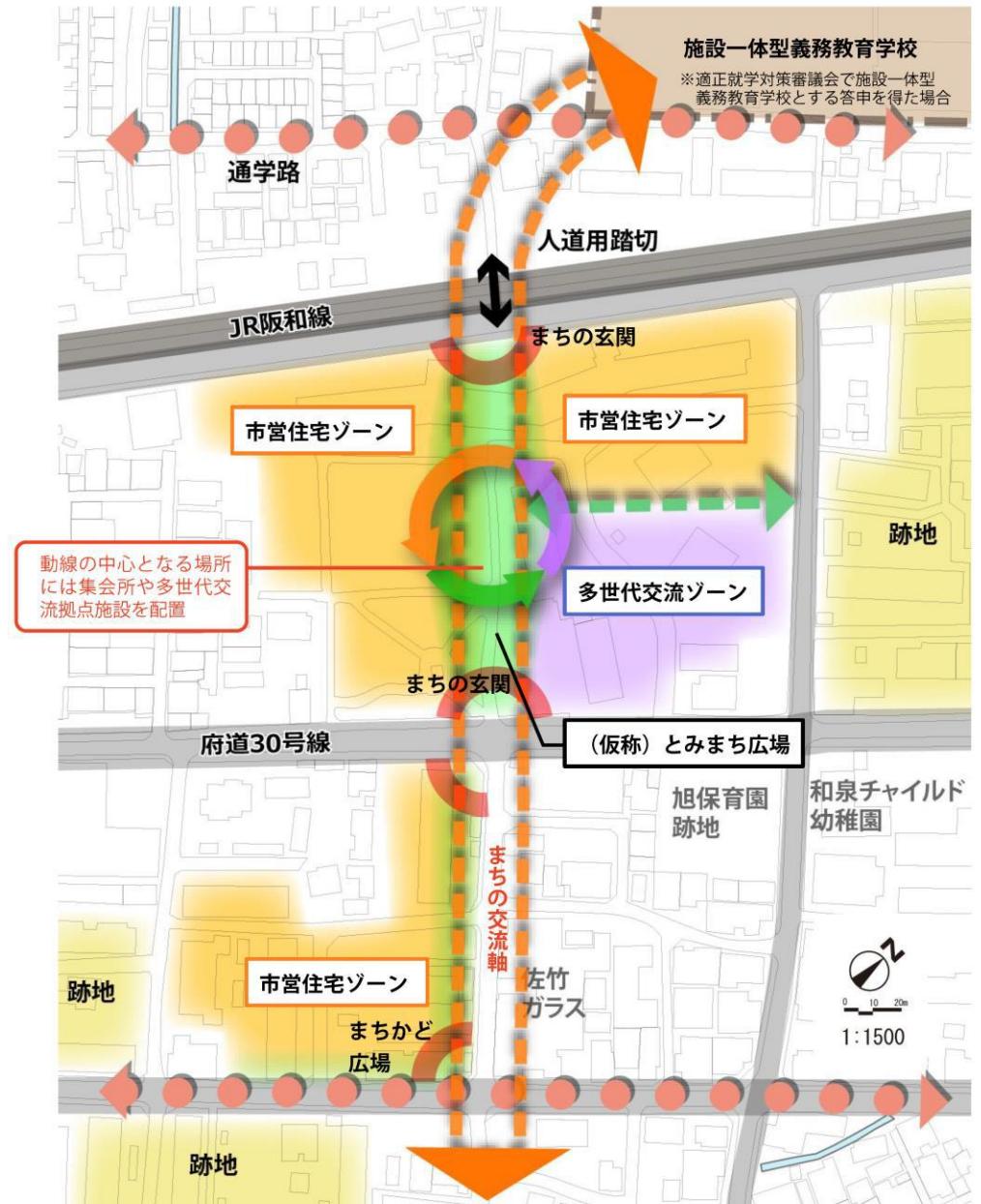
- ・災害時にも安全・安心で、高齢者に優しいバリアフリーな住宅
- ・隣近所での互いの見守り合いや、日常における出会いによりつながりが生まれる住宅
- ・快適で周辺環境とも調和した、地域の住環境を向上させる住宅

#### ② 入居者や地域の人々が集まり憩う「とみまち広場」

- ・小中一貫校への安全な通学動線となり、人が行き交う・駆け回る・くつろぐ・交流する広場
- ・地域のイベントや自治会活動など、用途に応じて柔軟に利用可能な広場
- ・人々が集い、このまちの特徴的な景色をつくる、まちの魅力を引き出す広場

#### ③ 多様な活動やつながりが生まれる「多世代交流拠点施設」

- ・そこにいけば誰かに会える、地域の人々が自然と集まる、思い切り遊べる施設・空間
- ・多用途が混ざり合うことで、自分のお気に入りの場所が見つかる施設・空間
- ・お互いの活動を感じ、一緒になってまちの活気を育てる施設・空間
- ・誰でも来られて、様々な課題を抱える人たちに寄り添い、支え合う施設・空間



# 多世代交流拠点施設をつくる基本的な考え方

## たたき台

地域みんなで自分達の居心地がよいように つどいとそだちとつながりをつくっていく  
**多様な活動やつながりが生まれる みんなの居場所**

周辺土地利用イメージ

おしゃべりを楽しむ  
コミュニケーションひろば



市営住宅集会所



集会所前の交流をつくる  
リビングひろば



子ども達がいつも集まる  
放課後ひろば



**施設一体型義務教育学校**

※適正就学対策審議会で施設一体型義務教育学校とする答申を得た場合

まちの交流軸



(仮称)とみまち広場



プレーパークができる  
自由ひろば



市営住宅ゾーン

多世代交流拠点施設

まちの顔となる  
まちかどひろば



**「そこにいけば誰かに会える、地域みんなが自然と集まる、思い切り遊べる施設・空間」**

小中学生が学校帰りに集まるロビースペースや、平日昼間から地域活動団体のプチイベントが開かれるホール、歩いていたら馴染みの人から声がかかるとみまち広場など自然な交流が生まれる場所とする

子どもの頃からいつも遊ぶ場として、記憶と体験に残り、親しみと愛着を持つような、地域のシンボルとなる空間へ育てていく

**「多用途が混ざり合うことで、自分のお気に入りの場所が見つかる施設・空間」**

同じ空間の中にも、お年寄りが健康相談できるブース、親子で座りながら本の読めるスペースなど、多様な用途のパブリックスペースを重層的につくることで、地域住民ひとりひとりの居場所となる場をつくる

**「お互いの活動を感じ、一緒になってまちの活気を育てる施設・空間」**

雑貨でづくり教室や健康体操、小中学生の美術作品展覧会など、様々な規模のアクティビティが行える可動間仕切りとしつつ、パブリックスペースから活動が見え、誰でも参加しやすい施設とする

**「誰でも来られて、様々な課題を抱える人たちに寄り添い、支え合う施設・空間」**

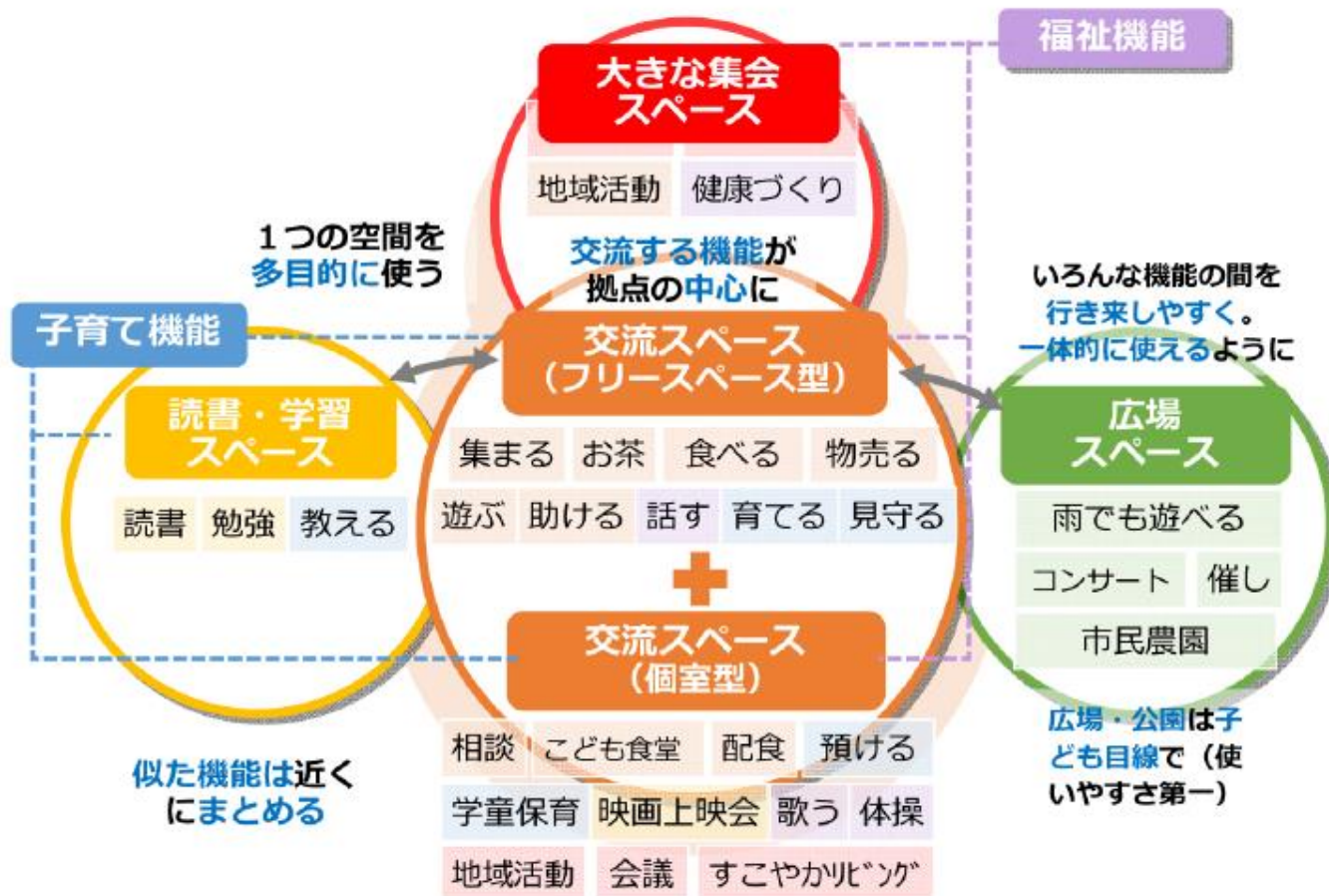
子どもから大人まで、悩みがある人でも、誰もが気軽に来られて、日常的に地域に寄り添う取組み・活動が行われている、助け合いや支え合いの場所とする



# 「まちづくり構想（地域案）」の検討段階において とりまとめた多世代交流拠点施設に導入する機能

## 【参考】

まちづくり検討会議等でとりまとめられた  
多世代交流拠点施設 機能イメージ



# 富まちミーティング【多世代交流拠点編①】のテーマ

どんな場になってほしいか

どうすれば人が集まるか

# 富まちミーティング【多世代交流拠点編①】のテーマ

## STEP 1

休みの日など、普段  
どんな場所で過ごす  
ことが多いか

例) 公園、図書館、  
商業施設、友人宅  
など

休みの日など、普段  
どんな活動をする  
ことが多いか

例) カフェで勉強、  
ショッピング、趣味  
の運動など

人権文化センターや  
青少年センターは普  
段どのように使っ  
ているか

例) 講座受講、クラ  
ブ活動、打合せ、読  
書など

※子どもや高齢者など多様な目線からの意見をお願いします。

# 富まちミーティング【多世代交流拠点編①】のテーマ

## STEP 2

普段人権文化センター・青少年センター  
を利用していない人は

普段人権文化センター・青少年センター  
を利用している人は

**行きたいと思える場所にする  
ためにどうしたらよいか**

例) 夜の時間帯でも利用できる、  
入口が分かりやすい、中で何を  
しているか分かりやすい、など

**誰でも来やすい場所にする  
ためにどうしたらよいか**

例) 活動をPRする、一般参加  
型のイベントを企画する、利用  
手続きを簡素にする、など

**どんな場になってほしいか**

**どうすれば人が集まるか**

※子どもや高齢者など多様な目線からの意見をお願いします。